


JICA/KITA 技術研修に参加したシャザナさん（マレーシア帰国研修員）から現地活動状況の便りが届きました

今回ご紹介する帰国研修員便りは、研修コース：「産業廃水処理技術 A」に参加されたシャザナさんの帰国後の活動状況です。

1. 今回レポートされた帰国研修員の紹介

名前 (通称)	写真	氏名	国名	受入れ研修期間
シャザナ さん		Ms. SHAZANA Mohd Ibrahim	マレーシア	2013/6/16 ~ 2013/9/07

【研修時の写真】



シャザナさん

川崎淳司 C L

閉講式終了後の記念撮影



研修先企業で実習中のシャザナさんと研修員の皆さん

3. シャザナさんからの便り



1) 現在の仕事の内容について

1. マレーシア天然資源環境局(DOE)の職員および関連産業で働く人たちに向けた水質管理に関する技術研修コースの企画および実施。
2. また技術研修モジュールを準備し、承認された技術研修モジュールに基づいた講義の実施。
3. 研修コースの参加者（DOE 職員および関連産業で働く人たち）から得た情報、意見、および水質管理に関連する DOE の方針・手順の変更に基づいて技術研修モジュールの評価・修正。

2) 現在の仕事に活かされた JICA/KITA の研修

1. JICA/KITA の研修で得た知識と情報をマレーシア環境研究所(EiMAS)の他のトレーナーたちに広めるためにセミナーを開催している。
2. DOE の職員たちのための技術研修コースで使用されている現在の研修モジュールを改訂している。
3. 規制理解、排水処理技術、維持管理、検査についての高度な専門知識（マインズ）およびスキル（ハズ）を持った有能な調査官を輩出するために DOE が行っている職員向けの認証プログラムの開発をサポートしている。
4. 関連産業で働く人たち、DOE 職員およびその他の関連機のための研修実施に対する自信が深まった。

3) 最近の活動報告

【テーマ】：産業廃水処理システム調査による環境省職員的能力強化

1) 序論

環境省強化プログラムは何度も確立されてきました。どうやら産業界の新たな課題に対応するために実施過程と方法を向上させる必要があるようです。それゆえ、現場における測定技術の向上によって廃水処理システムの実績調査を行うために実践的な研修が計画されました。この研修では、参加者は研究室や現場で実践的な実習を受けることになります。新しい業務の要件を満たすために、多様なパラメーターを測定する実地測定装置を使用し、

信頼性の高い測定法を紹介します。

2) 目標

実地測定を行うことで環境省職員に知識を与え、実践訓練を行うこと。

3) 研修成果

この研修で、環境省職員は以下についての知識を高め、理解を深めることができる。:

- ① 廃水サンプルの実地測定に使用される設備の種類
- ② 実地測定装置の操作手順
- ③ 廃水サンプルのパラメーターを実地測定する正しい方法
- ④ 基礎的なデータ分析及び解釈



写真 2. 試験工場で採取した廃水サンプルの分析を行う参加者（環境省職員）



クリックして一読下さい。
ルウさんのレポート（英文）
を記載しています。



4. 受入研修期間中の写真集

JICA/KITA研修コースの写真集

(2009年7～8月)



講義終了後の記念写真



研修先での実習

研修先の実習



研修先の実習



研修先の実習



ホームビジット

以上